

交通事故のないまちへ

橋本市交通指導員会

橋本市交通指導員会は結成から50年以上、橋本市内の交通安全に尽力してきました。メンバーは職業も年齢もさまざまですが、全員がボランティアで構成されています。街頭に立っての早朝啓発歩行指導など、子どもから高齢者まで、市民の皆さんが交通事故に遭わないようサポートするのが交通指導員の仕事です。これからも交通事故のない、安全安心なまちづくりに貢献していきたいです。



植阪政治さん 堀切好治さん

市内に広がるSDGs

市内には社会課題解決への貢献や持続可能なまちづくりなど、SDGsに関する活動に取り組んでいる団体や企業があり、その一部をご紹介します。



地域での支え合い

ふれあって山田

山田地区周辺の自治会役員や民生委員、老人会などのメンバーが中心となって、第2層協議体「ふれあって山田」を立ち上げました。誰もが元気で安心して暮らせる地域を目指しています。

本年度は一人暮らし高齢者の安否確認を進めながら、ごみ出しや草引きなどの助け合い活動を行っています。少しぐらいなら手助けできるという人の参加の輪を広げ、助け合える地域にしていきたいと思っています。



(後列左から) 米坂和芳さん 福井昭兒さん
(前列左から) 山本光子さん 森本千鶴子さん

心と体に栄養を

はしもと東こども食堂

はしもと東こども食堂は、子どもから年配者まで気軽に集まれる居場所づくりを行なっています。食事だけでなく、遊びや勉強など子どもたちの笑顔が増える環境をつくり、地域の福祉やコミュニティの充実につなげていけるようにがんばっています。

皆さんの支えがあつてのこども食堂です。食材が増えれば、食事のバリエーションも増やせますので、皆様のご支援をよろしくお願いします。



滝谷恵美子さん 寺地千恵子さん

環境に優しいものづくり

原田織物

原田織物では、SDGs宣言を行い、持続可能な開発目標の取組みを支援しています。製品の素材に植物由来のものや再生原料を使用したり、クリーンエネルギーを促進するために太陽光発電システムを設置したりするなど、環境に配慮したものづくりを行なっています。

また、職場内で性別、性的思考などによる不当な扱いがないことや、職場での悩みや不安を感じた場合に相談できる環境づくりにも取り組んでいます。



柿を加工して食品ロス削減

カット柿部会

傷などがある柿は規格外とされ、食べられるにも関わらず廃棄されていました。市内の若手農家で構成するカット柿部会では、食品加工会社と連携し、規格外の柿を食べやすいサイズに加工・商品化することに成功し、食品ロスの削減につなげました。

また、市内の学校給食にも使用され、地域の味を子どもたちに味わってもらう機会が増えました。これからも橋本市の地場産品である柿や農産物を生産し、次世代に継承するためにがんばっていきます。



前谷全孝さん